

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ツバサプラス ポラリス館		
○保護者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数) 24名
○従業者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	5領域の視点を踏まえた支援内容に沿い、子どもの発達や課題に関連した活動プログラムを計画・実施できていること。	5領域に基づいた支援内容を踏まえ、職員それぞれの得意分野を生かした活動プログラムを企画し、実施できていること。	生徒や保護者のニーズを踏まえ、希望や課題に応じた活動プログラムを柔軟に取り入れていく。
2	就労準備型放課後等デイサービスとして、実生活や就労を見据えたスキルの習得を支援し、社会性の向上や自立につながる療育を実践できていること。	外部企業での職業体験などを活動に取り入れ、実際の就労場面を想定した実践的なプログラムを実施できていること。	就労につながる作業実習の内容を充実させ、外部企業での実習機会を増やすことで、より実践的な就労準備活動を取り入れていく。
3	生徒や保護者からの意見や要望を大切に、それらを反映させた活動内容を計画・実施できていること。	生徒への定期的なヒアリングを通して希望や意見を把握し、外出活動など要望に沿ったプログラムを実施することで、来所機会の増加につながる取り組みを行っている。	これまで利用機会が少なかった利用者の声にも丁寧に耳を傾け、意見や希望を活動内容に反映できるよう取り入れていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	中高生を対象としているため、授業終了後の来所となる日には、十分な活動時間を確保することが難しい場合もある。	社会的自立を見据えて自主通所を基本としているため、下校時間の影響により来所後の活動時間が短くなる場合がある。	限られた時間の中でも達成感や学びを得られるよう、短時間でも充実して取り組める活動内容を工夫して取り入れていく。
2	利用者一人ひとりの学習面や生活面などの能力について、十分に把握しきれていない部分がある。	個別学習の時間では学校の課題(5教科以外)に取り組む利用者が多く、基礎学力の状況を十分に把握しきれていない部分がある。	5教科の基礎的な問題集などを準備し、学習への取り組み状況を確認しながら、個別の学習能力を把握していく。を把握していく。
3	保護者会を開催する機会が十分に確保できておらず、保護者同士の悩みや意見を共有し合う場づくりや対応が十分とは言えない。	秋祭りなどの行事で保護者同士が交流する機会はあるものの、事業所主催の保護者会は十分に開催できていない。	保護者のニーズを丁寧に聞き取りながら、意見交換や情報共有の場となる保護者会の開催に向けて取り組んでいく。